



2022. 09. 01

2学期が始まり1週間が経ちました。ちょっと外にいただけで汗が滴っていた猛暑から、朝は少し涼しく、過ごしやすくなってきているように感じます。しかし、昼間は暑い日もあるので、熱中症予防のために、こまめな水分補給や、気温が高い時は、過度な運動は控えるようにしましょう。また、気温の変化から、体調不良になる場合もあります。服装調節をして体調管理をしましょう。



《性教育講演会について》

日時 令和4年9月12日(月) 5校時
 会場 体育館(1年生) オンラインでの参加のため各教室(2年生)
 講師 産業医科大学 近藤 恵美先生
 産業医科大学 倉恒 克典先生
 演題 『思春期のからだのしくみ』

この講演会では、男女のからだの仕組み、出産について、命・からだの大切さについて講演していただきます。命やからだの大切にしようとする意識をもたせること、男女のからだの特性について正しい知識を知ることが目的としています。

保護者の方へ

受講にあたり、児童生徒に配慮が必要であるなどの場合は学校に連絡ください。

9月9日は救急の日です。



けがは、予測不可能です。速やかに適切な手当てを行うことで、悪化を防ぐこともできます。そして、下に示したように、『RICE 処置』などを覚えておくとよいでしょう。



だぼく・ねんざ・骨折疑い



すりきず

傷口を水道水で洗い流します。砂や泥が残っていると化膿しやすいので、洗いながら取りのぞきます(強くこすらないように)。出血していたら、清潔なハンカチやガーゼで止血します。



Rest (安静)

安静にします。無理に動かしたり、もんだり、ひっぱったりすることはやめましょう。



Ice (冷却)

氷水をいれた袋で患部を冷やします。長時間冷却したままにすることなく、間隔を開けながら冷却しましょう。



Compression (圧迫)

テープや弾性包帯で圧迫するように巻きます。圧迫しすぎると、血流は悪くなってしまうので注意しましょう。



Elevation (挙上)

患部を心臓より高くあげます。これは止血する場合も有効です。



きりきず

刃物やガラスなど鋭いもので切った傷は、水道水で洗った後、清潔なハンカチやガーゼで止血します。

深く切ったときは、神経が傷ついていることがあります。ガラスで切ったときは、かけらが残っていることもあります。受診しましょう。